

Windows10時代の パソコンの 「新」常識



Windows10はいつまでも使えるわけではない

- Windows10は毎年2回の大型アップデートがあり、バージョンが変わります。
- バージョンごとのサポート期間は1年半しかありませんので、更新をしていないと実質的に使えなくなってきました。
- 現在のサポート期限は次のようになっているので確認して下さい。

解説記事

OS	サポート期限
Windows 10 バージョン 20H2	2022年5月10日まで
Windows 10 バージョン 2004	2021年12月14日まで
Windows 10 バージョン 1909	2021年05月11日 終了
Windows 10 バージョン 1903	2020年12月08日 終了
Windows 10 バージョン 1809	2020年05月12日 2020年11月10日 終了
Windows 10 バージョン 1803	2019年11月12日 終了
Windows 10 バージョン 1709	2019年04月09日 終了
Windows 10 バージョン 1703	2018年10月09日 終了
Windows 10 バージョン 1607	2018年04月10日 終了
Windows 10 バージョン 1511	2017年10月10日 終了
Windows 10 バージョン 1507	2017年05月09日 終了

電源ボタンでシャットダウンすることができる

かつて、パソコン教室等で教えられたのは、「パソコンは電源ボタンを押して切ってはいけません」ということでした。しかし、現在では、電源ボタンの動作を選択して設定することができるので、次のように電源ボタンを押したらシャットダウンするように設定すれば、電源ボタンで終了することが可能になります。

設定方法

USBメモリーは取り出し操作をしなくても抜くことができる

- かつて、USBメモリーを取り外すときには、必ず取り外す操作をしないといけなかったのですが、現在のWindows10はその操作はせずそのまま取り外すことができるようになっていました。
- ただし、USBメモリーにデータを書き込んでいる途中で抜いてはいけません。

記事

アプリが応答しなくなったら強制終了する前にすべきことがある

- 何かのアプリを使っているときに動かなくなったり、安易に電源を切ってははいけません。(それは、OSもおかしくなり何も操作ができなくなった場合の最終手段)もし、裏で自動的にOSやアプリの更新が行われていた場合には、ストレージが壊れ、最悪OSが起動しなくなるからです。
- 特定のアプリが応答しなくなったら、次の手順で問題のアプリを強制終了するようにします。

設定方法

クリップボードのデータは履歴をさかのぼって利用できる

- かつて、クリップボードは直前に保存したものを貼り付けて利用するというものでしたが、現在は履歴として残っているものをさかのぼって利用することができます。
- ただし、履歴として残るのは、電源を入れてから後のもので、再起動やシャットダウンすると消えてしまいます。
- クリップボード履歴を利用する手順は次のとおりです。

設定方法

重要なデータはクラウドにも保存しておく

- データのバックアップには、クラウドのOneDriveを利用しましょう。
- パソコン内蔵ストレージの「ドキュメント」や「ピクチャ」に保存しているデータを手動でOneDriveにコピーするのもいいですが、次の手順で設定して自動的にバックアップすることもできます。

設定方法

Windows7や8.1は10に移行する

- もはやWindows7や8.1を使うメリットは何もなく、特に7はもうサポートが終わっていて使うのは危険ですから、10にアップグレードしましょう。今でも無料でできます。
- 10にアップするには、「Windowsのダウンロード」ページからオンラインで行う方法もありますが、次の手順でUSBメモリーにダウンロードして行うのが確実です。

設定方法

バッテリーは継ぎ足し充電できる

- かつてはバッテリーは継ぎ足し充電してはいけない(使い切ってから充電)と言われていたが、現在一般に使われているリチウムイオン電池ではそれは問題ありません。
- むしろ、完全放電のまま長時間放置すると電池の劣化を早めます。
- リチウムイオン電池は20～80%の間で使うのが良いとされています。

パソコンの時計はネットに接続していないとずれる

- パソコンの時計が正確なのは、正確な時刻を配信するサーバーと同期しているから。
- 従って、インターネットに接続していなかったり、時刻サーバーとの接続が切れていると時刻は次第にずれていきます。
- 時刻がずれている場合は、次ページの手順で設定を確認し、手動で時刻サーバーと同期させます。

時刻サーバーの設定確認と同期

スタート→設定→時刻と言語→日付と時刻

The screenshot shows the Windows Settings application, specifically the 'Date & Time' section. The left sidebar contains navigation options: 'Home', 'Search', 'Date & Time', 'Region', 'Language', and 'Voice Recognition'. The main content area is titled 'Date & Time' and displays the current date and time as '2021年5月24日、15:13'. Two red boxes highlight key settings: one around the '時刻を自動的に設定する' (Set time automatically) toggle switch, which is turned 'オン' (On); and another around the '時刻を同期する' (Sync time) section, which shows the last sync time and a '今すぐ同期' (Sync now) button. Two yellow callout boxes provide instructions: one points to the 'オン' toggle with the text '「オン」になっていることを確認' (Confirm it is turned 'On'); the other points to the '今すぐ同期' button with the text '「今すぐ同期」をクリックして同期されることを確認' (Click 'Sync now' to confirm synchronization).

設定

ホーム

設定の検索

時刻と言語

日付と時刻

地域

言語

音声認識

日付と時刻

現在の日付と時刻

2021年5月24日、15:13

時刻を自動的に設定する オン

タイムゾーンを自動的に設定する オン

日付と時刻を手動で設定する

変更

時刻を同期する

前回成功した時刻の同期:2021/05/24 15:01:27
タイムサーバー: time.windows.com

今すぐ同期

タイムゾーン

(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

関連設定

日付、時刻、地域の書式設定

別のタイムゾーンの時計を追加する

Webのヘルプ

アラームの設定

夜間照明の設定

ヘルプを表示

フィードバックの送信

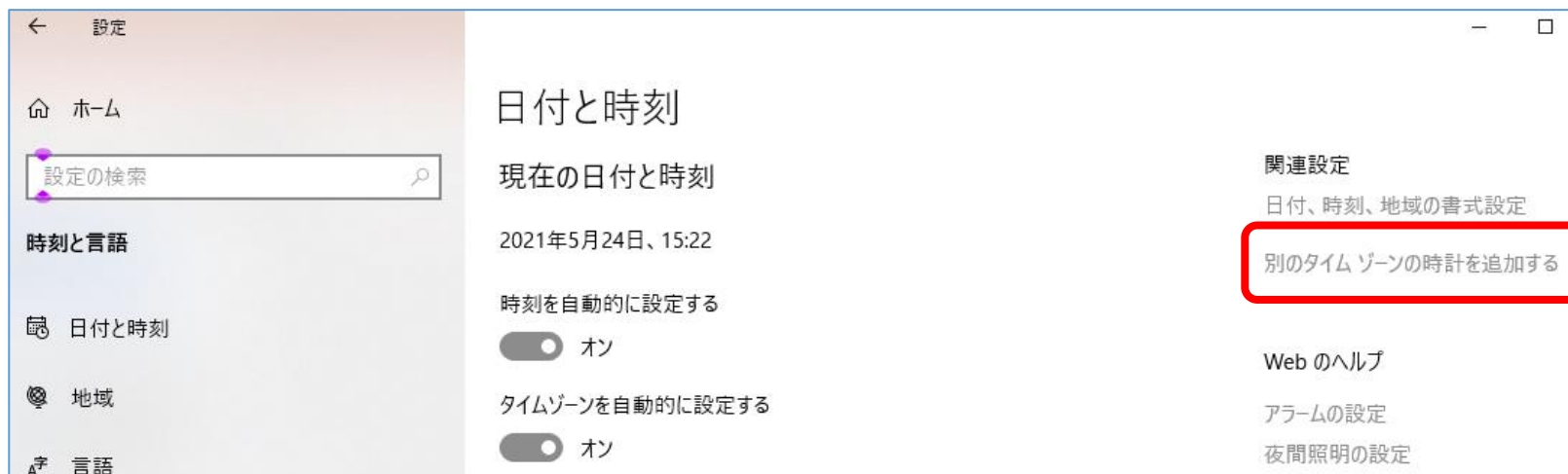
「オン」になっていることを確認

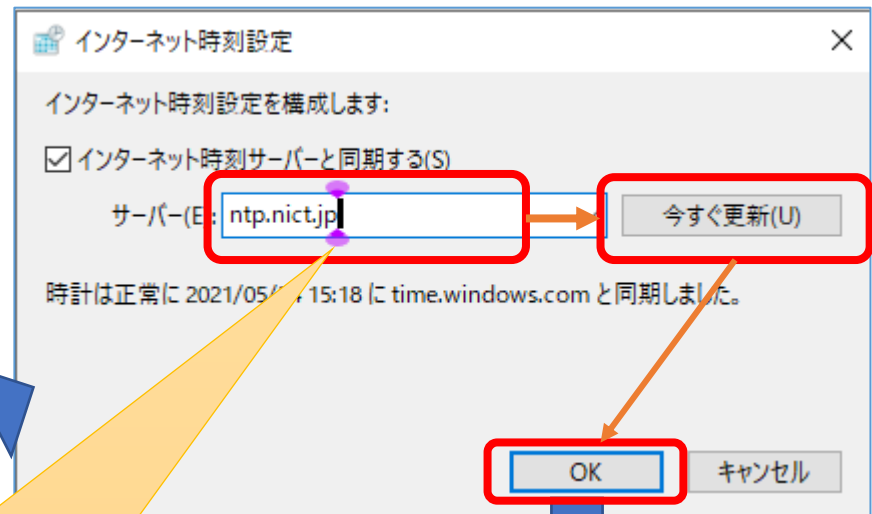
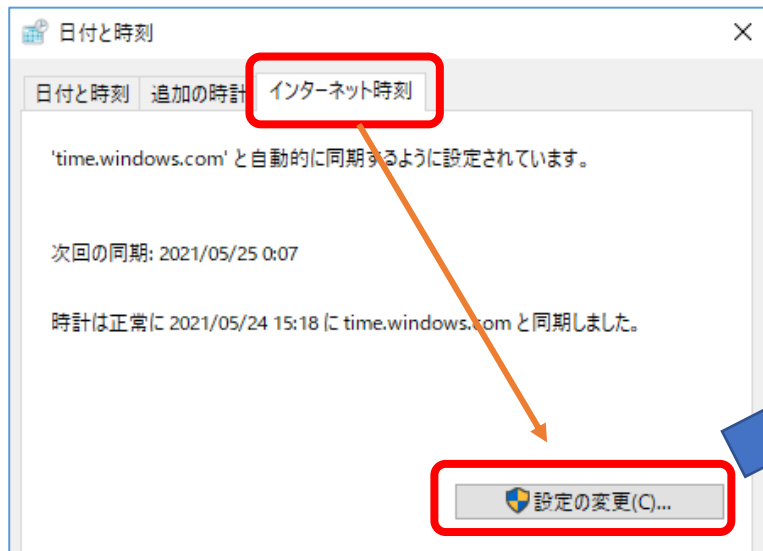
「今すぐ同期」をクリックして同期されることを確認

【参考】時刻サーバーを国内のものに変更する方法

Windowsでは、時刻サーバーはマイクロソフトのものが初期設定されていますが、これを日本標準時を管理しているNICT(情報通信研究機構)が運用するものに変更することができます。

「日付と時刻」の設定画面から、「別のタイムゾーンの時計を追加する」





- 「ntp.nict.jp」と入力し「今すぐ更新」をクリック
- 下に「・・・同期しました。」と表示されることを確認し「OK」
※もしエラーになった場合は、もう一度「今すぐ更新」

